



2026 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ア ス タ リ ス ク
代 表 者 名 代 表 取 締 役 執 行 役 員 社 長 鈴 木 規 之
(コード番号：6522 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 管 理 統 括 室 長 太 田 尚 友
ir@asx.co.jp

**アスタリスク、約 126 兆円規模の米国政府調達市場への事業展開に向けた基盤を構築
米国子会社 AsReader, Inc. が米国政府調達システム「SAM.gov」への登録を完了
～CAGE・NCAGE 等の政府調達に必要な事業者識別基盤を整備、米国政府・防衛・公共分野で事業機会拡大～**

株式会社アスタリスク（本社：大阪市、代表取締役執行役員社長：鈴木 規之、以下「当社」）は、米国子会社である AsReader, Inc. が、米国連邦政府の調達・事業者登録システム SAM.gov (System for Award Management) (以下、「SAM.gov」) への登録を完了し、2026 年 8 月 9 日付で登録が有効 (Active Registration) となったことをお知らせいたします。

米国会計検査院 (U. S. Government Accountability Office : GAO) によると、2025 会計年度における米国連邦政府全体の契約額は約 7,930 億米ドル (約 126 兆 2,456 億円*) に達しています。

今回の SAM.gov への登録完了により、当社グループは、この世界最大級の政府調達市場における事業機会の獲得に向けた重要な基盤を構築しました。

当社は今後、この基盤を活用し、これまで取り組んできた米国政府・防衛関連分野での営業活動をさらに前進させるとともに、政府・公共分野を含む新たな顧客・市場の開拓を進めてまいります。

※ 換算レートを 1 米ドル＝159.2 円 (2026 年 8 月 12 日時点) で算出

■ 約 126 兆円規模の米国政府調達市場への事業展開基盤を構築

米国連邦政府は、世界最大級の製品・サービス購入主体の一つです。

SAM.gov への Active Registration により、AsReader, Inc. は米国連邦政府との直接的な契約等に応募するために必要となる事業者登録基盤を整えました。

これにより、従来の民間企業向け市場に加えて、米国連邦政府、政府機関、防衛・公共分野における新たな事業機会へのアプローチを強化してまいります。

※ 米国連邦政府全体の契約額であり、当社が直接対象とする市場規模または当社の受注可能額を示すものではありません。

※ 出典：U. S. Government Accountability Office (GAO) 「Governmentwide Contracting, Fiscal Year 2025」

■ 米国政府による事業者確認・Validation プロセスを経て Active Registration へ

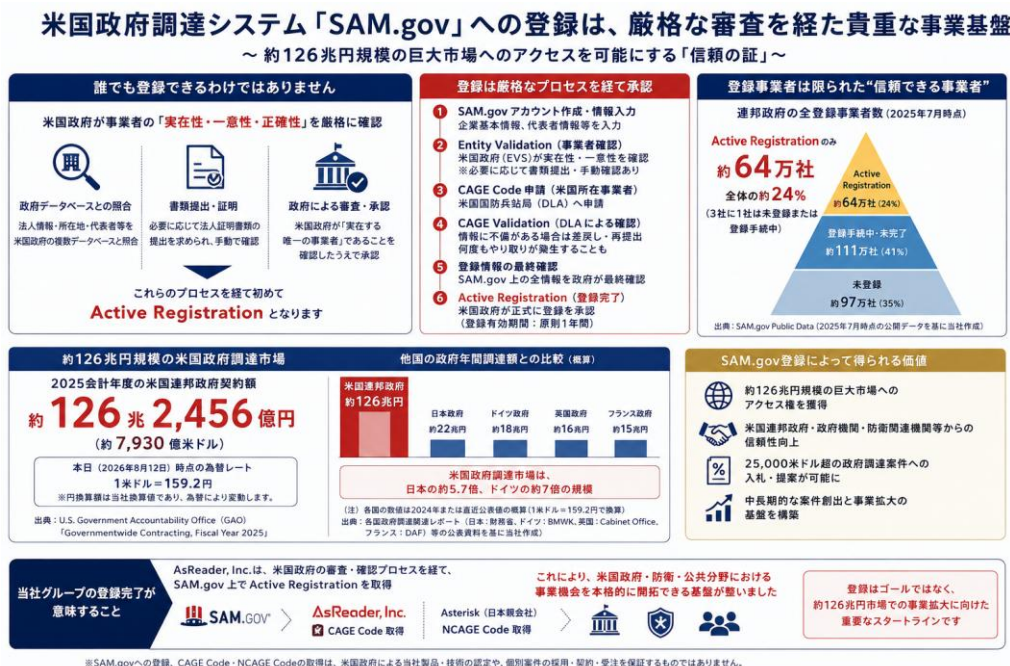
SAM.gov への登録は、単にオンライン上で企業情報を入力するだけで完了するものではありません。登録プロセスでは、米国政府の Entity Validation Service (EVS) 等を通じて、法人の正式名称、所在地、法人情報等の確認が行われ、政府が当該事業者の実在性および一意性を確認します。

登録内容と政府側が参照する情報との照合ができない場合などには、法人の実在性等を裏付ける追加書類の提出が求められ、手動によるレビューが行われる場合もあります。さらに、米国所在事業者については、米国防兵站局 (DLA) の CAGE Program Office による CAGE Code の Validation プロセスがあり、登録情報に不足、不備または無効な情報がある場合には、登録が差し戻され、修正または追加資料の提出が求められることがあります。

AsReader, Inc. は、こうした米国政府による事業者確認および登録プロセスを経て、2026 年 8 月 9 日付で

SAM.gov における Active Registration となりました。

今回の登録完了は、AsReader, Inc. が米国政府との取引に向けた正式な事業者登録基盤を整えたことを意味します。



■ AsReader に「CAGE Code」、日本親会社当社に「NCAGE Code」

今回の登録プロセスを通じて、米国人法人である AsReader, Inc. には、米国国防兵站局 (DLA) の CAGE Program Office から「CAGE Code」が付与されました。

CAGE Code は、米国政府・防衛関連機関等が企業・組織・施設等を識別するために使用する固有の事業者識別コードです。

一方、AsReader, Inc. の100%日本親会社であり、日本に所在する当社には、米国外の企業・組織等の識別に使用される「NCAGE Code」が付与されています。

これにより、

- ・ 米国子会社 AsReader, Inc. : CAGE Code
- ・ 日本親会社 株式会社アスタリスク : NCAGE Code
- ・ AsReader, Inc. : SAM.gov Active Registration

という形で、当社グループの企業関係を含む政府調達上の事業者識別・登録基盤が整備されました。

CAGE/NCAGE は政府・防衛関連の取引において事業者を識別するための重要なコードであり、今回の登録・付与によって、当社グループが米国政府・防衛・公共分野における事業機会を本格的に開拓していくための重要な条件の一つが整ったものと考えています。

■ これまで取り組んできた政府・防衛関連案件を次のステージへ

当社グループは、今回の SAM.gov 登録を契機として初めて米国政府・防衛分野への取り組みを開始するものではありません。米国子会社 AsReader, Inc. ではこれまでも、米国政府・防衛関連分野において、AsReader を活用した物品管理、資産管理、物流・在庫管理等の提案・営業活動を継続してきました。

政府・防衛関連案件では、製品・技術面での評価や商談が進んだ後、正式な政府調達プロセスへ移行する段階において、SAM.gov への Active Registration や CAGE Code、UEI (Unique Entity ID) 等の事業者情報が必要となる場合があります。

これまで当社グループが取り組んできた案件においても、政府調達に必要となるこうした事業者登録・識別情報への対応が、正式な調達プロセスを進めるうえでの課題となるケースがありました。

今回、SAM.gov への Active Registration および CAGE Code 等の事業者識別基盤が整ったことにより、これ

まで継続して取り組んできた案件を次のステージへ進めるための重要な環境が整ったものと考えています。

今後は既存案件を着実に前進させるとともに、SAM.gov 等を通じて得られる新たな政府調達機会も含め、新規顧客・新規案件の開拓を進めてまいります。

■ 米国政府・防衛・公共分野で求められる「モノの管理」と AsReader

当社はこれまで、スマートフォンやタブレットと組み合わせて利用できるバーコード・RFID リーダー「AsReader」を中心に、自動認識技術を活用した現場 DX ソリューションを国内外で展開してきました。

AsReader は、スマートフォンやタブレットを業務端末として活用しながら、バーコードや RFID によって物品・商品の認識、情報収集を行うことができるソリューションです。

政府・防衛・公共分野においても、

- ・資産・備品管理
- ・倉庫・在庫管理
- ・物流管理
- ・物品の入出庫管理
- ・装備品・工具等の所在管理
- ・セキュリティ管理
- ・各種物品のトレーサビリティ

など、「何が、どこに、いくつ存在しているのか」を正確かつ効率的に把握することは重要な業務課題の一つです。特に RFID は、複数の物品を非接触で一括認識できることから、多数の物品・資産を管理する必要がある倉庫、物流拠点、大規模施設等において、業務効率化・自動化への活用が期待されています。

当社は、これまで培ってきたバーコード・RFID 技術と、現場へ直接導入できるモバイル型ソリューションという AsReader の強みを生かし、米国政府・防衛・公共分野における幅広い用途への展開を進めてまいります。

■ 「日本発」の自動認識技術を世界へ

当社は創業以来、自動認識技術を活用して「現場を変える」ことを目指してきました。

バーコードから始まり、現在では RFID を活用したソリューションへと事業領域を拡大しています。

当社は、こうした自動認識技術を単なる「機器」として提供するのではなく、スマートフォンやタブレット、システム、現場運用と組み合わせることによって、「現場そのものをデジタル化するソリューション」として世界市場へ展開しています。

今回の SAM.gov への登録は、日本発の AsReader ブランドを、従来の民間市場に加え、世界最大級の米国政府調達市場へ展開していくための重要な一歩となります。

■ 米国市場をグループの新たな成長領域へ

米国子会社 AsReader, Inc. は、当社グループのグローバル戦略における重要拠点として、北米市場における AsReader 製品・ソリューションの販売および事業開発を担っています。

今回の SAM.gov 登録を契機として、従来の民間企業向け市場に加え、

「米国連邦政府・政府機関」

「防衛関連分野」

「政府関連のプライムコントラクター」

「公共分野」

など、新たな顧客層へのアプローチを強化してまいります。

政府調達は、民間企業向けの販売と比較して案件形成から正式契約まで長期間を要する場合がありますが、当社グループは中長期的な視点から、既存案件の着実な事業化と新規案件の獲得を目指します。

さらに、米国市場における案件の獲得を通じて導入実績やノウハウを蓄積するとともに、そこで得られた顧客ニーズや知見を製品・ソリューションのさらなる高度化に反映してまいります。これにより、既存案件で培った実績や技術を新たな政府・公共分野および民間企業向け案件へ展開し、さらなる事業機会の創出につな

げてまいります。

当社グループは、こうした「案件獲得」「導入実績・ノウハウの蓄積」「製品・ソリューションの高度化」「新たな市場・顧客への展開」を継続的に循環させることで、米国における事業基盤を強化し、米国事業を当社グループの中長期的な成長を支える事業領域の一つへ育成してまいります。

■ 今後の展望

今回の SAM.gov への Active Registration は、当社グループにとって米国政府市場への「ゴール」ではなく、本格的な事業開拓に向けた「スタートライン」であると位置付けています。

当社グループは、今回の登録によって整備された事業基盤を活用し、まずはこれまで継続して取り組んできた政府・防衛関連案件の前進を図るとともに、新たな政府調達案件へのアプローチを積極的に進めてまいります。

こうした取り組みを通じて、米国政府・防衛・公共分野における AsReader 製品・ソリューションの採用拡大を目指し、導入実績を着実に積み重ねていくことで、さらなる案件の獲得や新たな顧客・用途への展開につなげてまいります。

また、米国市場で得られるニーズや知見、導入実績を製品・サービスのさらなる高度化にも生かし、政府・防衛・公共分野における事業機会を中長期的な成長につなげていくことを目指します。

当社は今後も、「自動認識技術で世界の現場を変える」ことを目指し、日本発のバーコード・RFID 技術を核として、米国市場をはじめとするグローバル事業のさらなる拡大に取り組んでまいります。

なお、本リリースによる業績に与える影響は軽微であります。

【SAM.gov について】

SAM.gov (System for Award Management) は、米国連邦政府が運用する政府公式の事業者登録・調達情報システムです。

米国連邦政府との直接的な政府契約等への応募を希望する事業者が登録するシステムで、事業者情報の管理、政府契約機会の検索、各種政府調達情報の提供等に利用されています。

AsReader, Inc. は、2026 年 8 月 9 日付で SAM.gov への登録が有効 (Active Registration) となっています。登録にあたっては Entity Validation 等の確認プロセスがあり、法人の正式名称、所在地等の情報について事業者の実在性・一意性の確認が行われます。

米国所在事業者に付与される CAGE Code についても、米国国防兵站局 (DLA) の CAGE Program Office による Validation プロセスがあります。

※ SAM.gov への登録、CAGE Code・NCAGE Code・UEI 等の取得・付与は、米国政府による当社または当社製品・技術の認定・推奨を意味するものではなく、個別案件の採用、契約締結、受注または売上の発生を保証するものでもありません。当社グループが今後、米国政府・防衛・公共分野における事業機会を開拓するための事業基盤を整備したものです。

【AsReader について】

AsReader は、バーコード・RFID リーダーを中心とした当社グループの自動認識ソリューションブランドです。スマートフォン・タブレットの利便性と自動認識技術を組み合わせることで、物流、流通、小売、製造など幅広い業界における現場業務のデジタル化・効率化を支援しています。

今後は、これらの技術・ノウハウを活用し、米国政府・防衛・公共分野を含む新たな市場への展開を進めてまいります。

以上